資料４

計画名称と基本目標の設定について

Ⅰ　計画名称について

１　現計画の名称

福島県新長期総合計画「うつくしま２１」

これまで、本県のイメージとして浸透させてきた「うつくしま、ふくしま。」から、「うつくしま」を使い、２１世紀の始まりに計画を策定するという趣旨から決定した。

２　過去の本県計画の名称（過去２計画）

・新福島県長期総合計画～豊かなふるさとづくり・新ふくしまプラン～（一般公募）

・ふくしま新世紀プラン

３　他県の状況

① 名称を工夫している例

ほっかいどう未来創造プラン（北海道）、いわて希望創造プラン（岩手県）、とちぎ元気プラン（栃木県）、ゆとりとチャンスの埼玉プラン（埼玉県）など

② 特に工夫していない県

和歌山県中期総合計画、滋賀県基本構想など

４　名称設定の考え方

総合計画の名称について、計画を印象づける、いわゆる“看板”であることから、名称をわかりやすく工夫することとし、その設定にあたっては、以下のことに留意する。

① 福島県をイメージさせる名称であること。

② 県民に親しみやすい名称であること。

③ 基本目標と調和を図ること。

④ 文字数は、１０字程度以内であることが望ましい。

Ⅱ　基本目標の設定について

１　基本目標設定の必要性

県民、民間団体、行政など、本県で活躍する様々な主体がともに力を合わせて県づくりを進めていくためには、県全体で目指していく上で、根幹となる目標を掲げ、共有することが必要である。

２　基本目標設定にあたっての考え方

（１）「人づくり」、「地域づくり」を中心に据える。

新しい総合計画では、「魅力の再認識・発信」、「多様性・総合力の発揮」、「チャレンジ」の３つの「基本姿勢」を示すとともに、全体の礎として、「人と地域が輝く『ふくしま』」を位置づけ、これに３つの柱「いきいきとして活力に満ちた『ふくしま』」、「安全と安心に支えられた『ふくしま』」、「人にも自然にも思いやりにあふれた『ふくしま』」を置き、「めざす将来の姿」を整理している。

基本目標は、これらを集約したものを設定する考えから、礎として整理している「人づくり」、「地域づくり」を中心に据え、県民が将来に夢と希望が持てるよう、経済的な活力の向上と生活満足度の向上をあわせて表現するものを設定する。

（２）県民にわかりやすい身近なキーワードを使用する。

（３）福島県をイメージさせるものであること。

（４）簡潔にまとめられていること。